令和８年度　　草津高等学校　学校評価

本年度の重点目標

「草高に来てよかった！！」と誰もが思える学校づくり
◎教育目標　１　主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、学力のさらなる向上を図る。
　　２　将来の夢と目標を育むキャリア教育を推進する。
　　３　健全な学校生活を確立し、社会で生きるための自律心と自立心を育む。
　　４　互いの人権を尊重し、多様な人と共生できる健全な人格の形成を目指す。
重点目標：「学習指導の充実～主体的な学びの確立」「進路目標の実現」「健全な社会性の育成」「人権意識の向上」

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	生徒を主語に考え、生徒の長所を伸ばし個性を生かすための学校経営が推進されている。	A		
	常に業務をアップデートしながら、学校が、組織として機能し、教育目標にもとづいた校務運営が進められている。	A		
2　学習指導	シラバスに基づいて計画的に学習指導を実施している。	A		
	生徒のわくわくした学びを実現するために、指導方法の工夫改善をおこなっている。	A		
3　生徒指導	規則正しい生活習慣の養成、規範意識の確立をめざす指導を適切におこなっている。	A		
	安全かつ安心で健康的な高校生活を保障できるよう努めている。	A		
	いじめ問題の早期解決と未然防止に努め、いじめを許さない態度を育成している。	A		
4　進路指導	自らの在り方生き方を探究する資質、勤労観・職業観を育成し、目的意識を確立させるよう努めている。	A		
	進路に関する情報の効果的な提供や進路に関する相談体制の整備等を組織的系統的に進めている。	A		
5　特別活動等	３年間の生徒の育成に配慮したＬＨＲ計画の策定や学校行事の設定を適切におこなっている。	A		
	生徒会活動、ホームルーム活動や部活動の活性化に向けた取組をしている。	A		
6　学校図書館	生徒が読書を自分自身の成長に役立たせることができるよう学校図書館の活用を推進している。	A		
	教科・科目、総合的な探究の時間や朝読書・一斉読書等に学校図書館を活用できる体制をとっている。	A		
7　保健・安全指導	相談体制の充実による心のケアと、健康管理という心身両面の健康指導に努めている。	A		
	生徒の事故、怪我、病気等に対して、体制を整え、適切に対応している。	A		
8　人権教育	人権感覚の高い生徒集団を確立するように仲間づくりや学習環境づくりを推進している。	A		
	あらゆる教育活動の場で、人権問題について学習する機会をもち、人権教育を推進している。	A		
9　環境教育	教科指導や特別活動において環境に配慮した生き方や価値観の定着を図っている。	A		
	自然や地域との共生の観点で、清掃活動を中心にゴミの分別・減量化や身の回りの環境の整備に努めている。	B		
10　事務・管理	学校の保有する情報の管理・処理を適切に実施している。	A		
	防災や危機管理に配慮し、学校施設の安全管理に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	教職員の資質向上のための研修を積極的に計画、実施している。	A		
	情報発信に努めるとともに、保護者や地域、学校評議員との連携を深め、開かれた学校づくりを推進している。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
　　１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
　　３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.kusatsu-h.shiga-ec.ed.jp